作成日：2025 年　7 月　15 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸 T1 癌において中分化癌はリンパ節転移のリスク因子となるかの検討
１．研究の対象および研究対象期間 2001 年 4 月から 2024 年 4 月までに昭和医科大学横浜市北部病院でリンパ節郭清を伴う外科的切除を受けた T1 大腸癌の患者さんすべての患者さんから、(a)異時性または同時性の進行癌、(b)固有筋層を超える浸潤、(c)リンチ症候群、家族性大腸腺腫症、または潰瘍性大腸炎、(d)術前化学療法または放射線療法、(e)データ欠損、(f) 外科的切除を受けていない病変をもつ患者さん、および、低分化型腺癌、粘液癌、印環細胞癌を有する患者さんを除外した 881 名の既存情報を対象としました。
２．研究目的・方法 本研究の目的は、T1 大腸癌の患者さんの既存情報（病理所見）の解析を行うことで、中分化型腺癌（tub2）がリンパ節転移（LNM）の危険因子であるかどうかを調査することです。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 7 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの性別、患者さんの年齢、腫瘍の部位、病理所見（病理診断、リンパ節浸潤の有無、静脈侵襲の有無、蔟出、組織型、病変サイズ、病変肉眼型)、治療の方法
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
６．研究組織 研究責任者　　昭和医科大学横浜市北部病院消化器内科　　新村　裕

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院消化器センター　内科　　氏名：新村　裕
住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央３５－１　　電話番号：045-949-5140